2019年度 授業計画(シラバス) 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル(科目名)	
工業専門課程 Webスペシャリスト科	4	演習Ⅳ	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
☑ 講義 ☑ 演習 ☑ 実習		有無	

[実務経験歴]

映像、ゲーム、DTPの分野で開発、制作などを幅広く担当。

開発に於いては、グラフィック等の変換システムやデータ構築などを担当。

デザイン分野では、企画、グラフィックデザイン、3DCGモデリング、スクリプト制御、ムービー制作などを担当。

単位数(授業の回数)	時間数⊠	配当時期	必修・選択
4 単位 (60 回)	120 時間	○ 前期 ○ 後期 ● 通	▶ ⑥ 必修 ○ 選択

「授業の目的・ねらい」

Mayaの使用頻度の少ない機能を調べ、使い方や使いどころ等を練習し習得を目指す。

昨今、急速に普及してきているBlendrの基本の習得を目指す。

「授業全体の内容の概要」

- ①Maya、ポリゴンやパーティクル、シェーダーなどでのエフェクト作成
- ②Blenderの習得

[授業終了時の達成課題(到達目標)]

Maya、BlenderやUnityなどで、より一層の習熟

[準備学習の具体的な内容]

毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。

[使用テキスト]	[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト	実習課題と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。	
	・課題評価の点数は60点以上を合格点とする。	
4 +/ ± + h	・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。	
参考文献	評価基準	
必要に応じて授業の中で紹介する。	課題評価80%、平常点(出席、講義の参加度)20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]		
1回 Maya、シェーダ応用①		
2回 Maya、シェーダ応用②		
3回 Maya、シェーダ応用③		

4回 Maya、シェーダ応用④5回 Maya、シェーダ応用⑤

6回	まとめと振り返り
	Maya、パーティクル応用①
	Maya、パーティクル応用②
	Maya、パーティクル応用③
	Maya、パーティクル応用④
	Maya、パーティクル応用⑤
	Maya、パーティクル応用⑥
-	Maya、パーティクル応用⑦
	Maya、パーティクル応用®
	まとめと振り返り
	Maya、XGen応用①
	Maya、XGen応用応用②
-	Maya、XGen応用応用③
	Maya、XGen応用応用④
	Maya、XGen応用応用⑤
	Maya、XGen応用応用⑥
22回	Maya、XGen応用応用⑦
23回	まとめと振り返り
24回	Maya、Bifrost基本①
25回	Maya、Bifrost基本②
26回	Maya、Bifrost基本③
27回	Maya、Bifrost基本④
28回	Maya、Bifrost基本⑤
29回	Maya、Bifrost基本⑥
30回	まとめと振り返り
31回	Blender、基本操作①
32回	Blender、基本操作②
33回	Blender、基本操作③
34回	Blender、モデリング基本①
35回	Blender、モデリング基本②
36回	Blender、モデリング基本③
37回	Blender、モデリング基本④
38回	Blender、モデリング基本⑤
39回	Blender、質感設定 基本①
40回	Blender、質感設定 基本②
41回	Blender、質感設定 基本③
42回	Blender、質感設定 基本④
43回	Blender、レンダリング基本①
44回	Blender、レンダリング基本②
45回	まとめと振り返り

46回	Blender、リギング基本①
47回	Blender、リギング基本②
48回	Blender、リギング基本③
49回	Blender、リギング基本④
50回	Blender、リギング基本⑤
51回	Blender、リギング基本⑥
52回	まとめと振り返り
53回	Blender、キャラクター作成①
54回	Blender、キャラクター作成②
55回	Blender、キャラクター作成③
56回	Blender、キャラクター作成④
57回	Blender、キャラクター作成⑤
58回	Blender、キャラクター作成⑥
59回	Blender、キャラクター作成⑥
60回	まとめと振り返り